



発行所 南部公民館
責任者 湯本 市蔵
編集委員長 石川 政志
印刷所 北信ローカル

南部地区盆野球大会

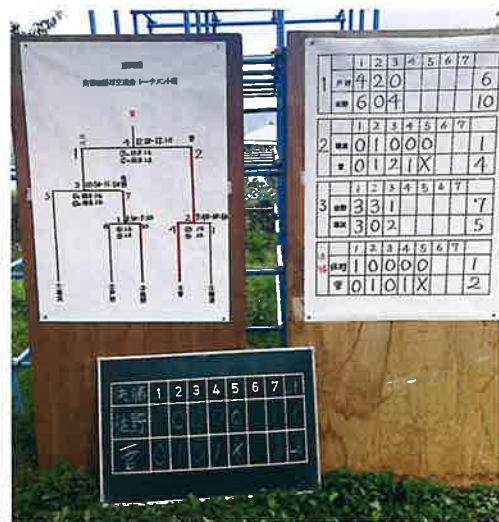
令和6年8月15日に第68回南部地区盆野球交流大会を開催しました。昨年度より2チーム多い5チームが参加され、優勝は菅地区、準優勝は佐野地区となりました。決勝戦で試合を決める本塁打を放った菅の市川凌さんから感想をいただきました！

人生初ホームラン

市川 凌



この度、私は、年齢30歳にして、人生初のホームランを打ちました。私、市川は、旧戸隠村から山ノ内町に移住し、山ノ内町6年目になります。妻が菅出身という繋がりから、今回歴史ある南部公民館主催の盆野球大会に参加させていただきました。一応、小中高と野球を経験してきましたが、そんな経験も全く役に立たずミスにミスを重ね、チームの足を引っ張るばかりでした。



決勝戦は最終回まで1対1と緊迫した試合の中、「楽しかったなぁ」と、既に1日の思い出に浸りながら最終打席でバットを振ったところ、たまたまバットに当たり、たまたまホームランになり、これで来年の盆野球大会に呼んでいただけそうで本当に良かったです。(笑)

町外から来た者にも皆さん温かく接していただきありがとうございました。来年も呼んでいただけたら、ベンチから一杯応援したいと思います。(笑)



準優勝 佐野地区



優勝 菅地区



《寒 沢》



1月12日(日)に、前日までに積もった雪をどかしながらどんど焼きの準備を行いました。

秋に切り出しておいた竹やカヤといっしょにしめ飾りやだるま、書き初めなども飾られました。竹が非常に長く、今までにない大きなやぐらとなりました。

区長や還暦の方などの松明による点火により、竹の破裂する音とともにどんど焼きは盛大に行われました。

甘酒がふるまわれ、熾おもちを焼き、一年の無病息災が祈られました。

1月12日(日)、組によっては11日(土)の朝、各班長・伍長さん・役員さん・当番の方のご協力のもと、どんど焼きの準備が行われ、当日夕方6時に点火。

今年もどんど焼きを行うことができました。去年は、元旦早々に能登半島地震、秋にはまた能登地方で豪雨災害など不便な生活をしている方が多いです。だからこそ正月の伝統行事を当たり前にできることへの感謝もありました。

当日は好天に恵まれ趣のあるどんど焼きとなりました。今年は皆様にとって穏やかで良い年になりますように。

《戸 狩》



伊沢組



箱山組

《佐野》



1月11日(土)朝のうち小雪が舞っていましたが、その後は快晴。

南北谷地道陸神組合の役員さん15人で、南小学校校庭に4・5mのやぐらを立て、正月飾りやだるまなどで飾りつけ。

夜7時に点火され、あっという間に燃え上がり、写真を撮る時間も無いほど。火が小さくなると待っていましたとばかり周りを囲むように餅を焼き、1年間の無病息災を祈りました。



《穂波温泉》



1月12日(日)の穂波温泉のどんと焼きは、栄橋の上の堤防で行われました。

朝から区の役員の皆さんで櫓を建て、育成会の子も達が各家庭から集めたしめ縄、だるま、書初め等を飾り付けました。

夜18時半に子どもの点火により、空高く燃え上がる炎を囲み、1年の無病息災を祈りました。

《菅》



菅5組

今年の菅のどんと焼きは、1月12日(日)に各組ごとに執り行われました。菅は9組ありますが、組によっては数組合同で準備をしているところもありました。また、以前は日が暮れてから火を点ける組が大半でしたが、昼間のうちに行う組も増えてきました。どんと焼きに多くのご家庭が参加できるよう各組で調整し、今後も続けていければと思います。

長寿を祝う会

館長 湯本 市蔵



令和6年9月16日(月)敬老の日の午前11時ほなみふれあいセンターロビーで、養田主事の司会進行で開会式を行いました。湯本館長のあいさつと「コロナウイルス感染が5類移行になり、従来に戻せないか検討したが、時期尚早とのことで前年同様に節寿者(喜寿・米寿・白寿)の皆さんに記念品を送ることにになりました。町の中央・地区公民館長主事会議で意見交換したが、他の地区館も同様でした。ただ、館長の挨拶文と一緒に

令和6年度対象者85人 地区別内訳

区 名	75歳以上	喜 寿	米 寿	白 寿	合 計
佐野区	266	25	11	1	37
穂波温泉区	132	5	9	1	15
戸狩区	126	10	3	0	13
菅区	65	6	3	0	9
寒沢東区	43	4	1	0	5
いで湯の里	68	3	3	0	6
合計	700	53	30	2	85

にお配りしているところがあつたので、南部でも挨拶文を添えさせてもらうことにした。」との経過報告・事業説明がありました。その後、表彰状(長寿詞)と記念品の届け先確認と品物を配分し、分館ごとに出発、夕方までに完了しました。

長寿節の皆さんおめでとうございます。一層のご長寿をお祈りいたします。各分館の館長・主事さん、担当役員の皆さんありがとうございます。

ほなみふれあいセンター

第2回防災訓練・二斉清掃

主事 養田 進一

12月7日(土)、午後3時より南部地区館長・主事、利用者団体代表25人が参加して行われました。春に消防署員を講師にしての訓練ができなかったことから今回は避難・通報訓練と特別に屋内消火栓の放水訓練を実施しました。

まず赤いボタンを押すこと。非常ベルが鳴ります。そしてポンプの電源が入ります。あとは説明に従ってホースを延ばし、バルブをひねると水が勢よく出ました。これはホテルなど、どこでも応用できるので火災の時は臆せずにご利用くださいとのことでした。使ってみて自信ができました。復旧のために業者さんへの支払いが生じましたが良い経験ができました。



屋内消火栓の放水訓練の様子

南部地区健康教室について

学習文化委員長 宮入 寛雅

令和6年10月27日(日)午前9時より南部公民館主催の「南部地区健康教室」をほなみふれあいセンターにて開催しました。その日は、衆議院選挙の投票日と重なってしまいました。様々な方に協力いただきました。行なうことができました。

まず初めに、保健指導員の方に血圧測定を行っていただ

き、普段あまり測っていない自分の血圧を知ることができました。

次に町保健師の佐藤さんの講話がありました。県内でも山ノ内町が高血圧の人の割合が一番高く、適度に運動をして野菜を多く摂る事が大事だそうです。

次に佐野地区でエアロビクス教室の湯本文恵さんを講師に迎え、講演・実技として軽い運動などを行っていただきました。日常あまり動かしてないところの筋肉なども動かすことができ、体が少し軽く動くような感じがしていました。



最後になりましたが、協力していただいた保健指導員の方をはじめ、講師をお願いした町保健師の佐藤さんや湯本文恵さん、選挙の投票日の中、都合をつけて参加された方や公民館役員の皆様に厚く御礼申し上げます。